



【学校教育目標】社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.4

令和 6 年 7 月 1 日
京都市立東山泉小中学校
校長 岩田 智典



休日参観

6月1日(土)休日参観が行われました。好天の中、東西学舎併せて700名近い保護者の方(祖父母含む)が来校してくださいました。公開授業では「道徳」の授業を全学年行い、見学していただきました。特別な教科「道徳」は子どもの人間性を育てる教科として 2018, 19 年度から

正式に授業に組み込まれました。今回行われた「道徳」は 1 年から 9 年まで、友達のこと、自分のこと、家族のこと、国際的なことと取り上げた内容は様々でした。「道徳」の教材はご家庭の中にもたくさんちりばめられています。また何かの機会にお子様と「道徳」についての話をしていただければ幸いです。



東学舎1組 校外学習

6月21日(金)東学舎1組で校外学習に行きました。校外でのマナーやルールを守り、グループで行動することを目指して頑張りました。京都市京セラ美術館で開催されていたジブリ展を観覧し、午後からは京都市動物園に行きました。ジブリの素晴らしい作品や生き生きとした動物を見て、たくさん心に感じるものがあったと思います。今回の学びを今後の学校生活にも生かしてほしいです。



7年校外学習

5月24日(金)7年生は、夢創「わがまち京都の未来」の授業の一環で、京都市内にフィールドワークに出かけました。班行動で、それぞれの場所で京都の魅力や課題を探るべく、調査やインタビュー活動を行いました。中には外国人に英語でインタビューをしている班もありました。以下は7年生の感想です。しっかりと京都の観光の現状をつかんでいます。

感想 今後の京都の課題は観光客に対しての案内です。今京都はたくさんの観光客にあふれてすごく混雑しています。今、たくさんの国からの観光客がいます。案内看板をみると日本語と英語だけの看板が多く他の国の人にはわからないと思います。このことから京都の観光客量に対しての案内を強めることが大事だと思いました。

8年校外学習

5月21日(火)8年生は夢創の授業の一環で、大阪市内へ校外学習に行きました。大阪は京都と違い、高層ビルが立ち並ぶ大都会です。京都では見慣れない光景で、不安もありましたが、班員と協力しながら様々なことを学ぶことができました。特に「地下鉄の路線が多く電車の乗り継ぎが大変だった」という声が多く、日本第二の都市を実感したのではないのでしょうか。また、今回の校外学習では「企業家の人の話を聞く」というテーマで、安藤百福さんのラーメン作りの話を聞きました。安藤さんの諦めない精神と熱い思いと名言が8年生の胸に響いたようです。

